

# 個人投資家向け会社説明会

2024年12月11日

1.会社概要	<u>P2</u>
2.中期経営計画	<u>P14</u>
3.業績等	<u>P39</u>
Appendix	<u>P44</u>



# 会社概要



# — 暮らしを支える価値創造 —

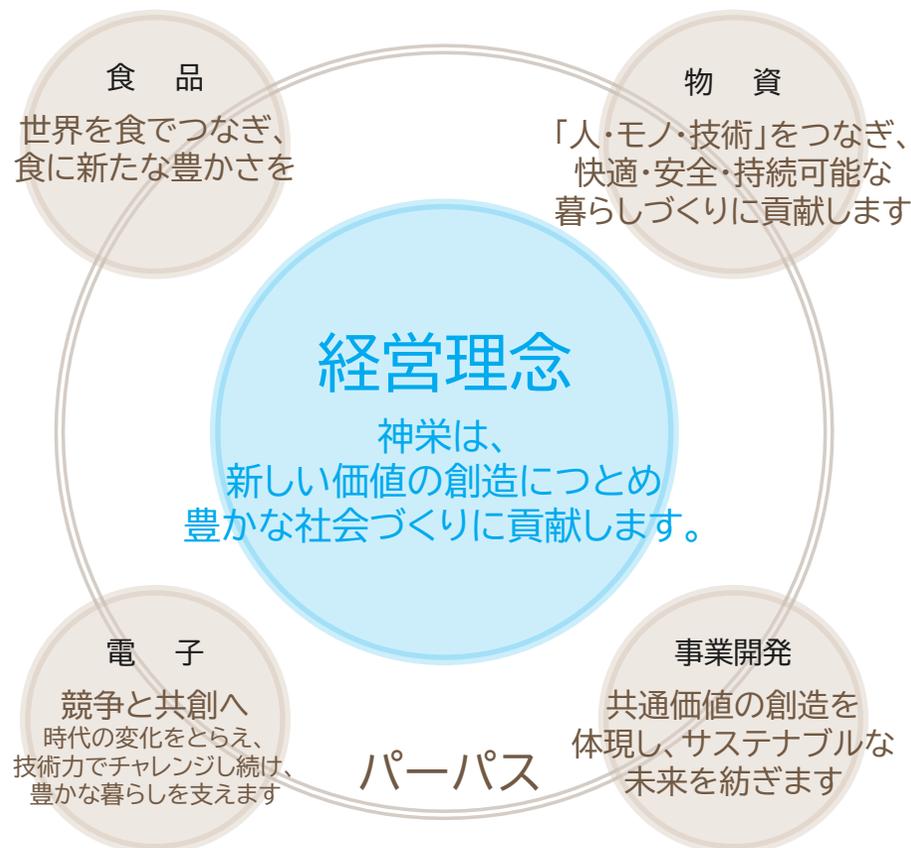
1887年、神戸の地で誕生した神栄株式会社は、  
以来、神戸とともに成長し、時代の試練にも  
果敢に立ち向かいながら社業を発展させてきました。

「神栄」という社名は、  
「神戸の繁栄への願い」と「発祥の地である 神戸栄町」に  
ちなんで命名されたもの。  
私たちはこの名を大切にしながら、  
世界の人々の豊かな暮らしを支える事業を展開してまいります。

## 会社概要

## 経営理念とパーパス

会社名	神栄株式会社(英文社名:SHINYEI KAISHA)
本社	神戸市中央区
設立	1887年5月
上場市場	東京 スタンダード市場上場(3004)
事業内容	国内および海外における各種商品の販売および輸出入、電子部品・関連製品の製造・販売および輸出
セグメント	(2024年3月期まで) 食品関連・物資関連・繊維関連・電子関連 (2025年3月期以降) 食品関連・物資関連・電子関連・事業開発関連 (4セグメント)
従業員数(連結)	467名(2024年3月31日現在)



# 沿革 「繊維」に始まり「物資」「電子」「食品」へと展開



冷凍食品等の仕入  
拠点としてバンコク  
事務所を開設

株式会社メデイパルホールディングスと資本業務提携

テレビショッピング  
向けアパレル通販  
事業を開始

冷凍食品等の仕入  
拠点としてホーチ  
ミン事務所を開設

アゼルバイジャン共和国  
における防災コンサル  
ティング事業を開始

試験機・測定機器の  
製造・販売事業を営む  
会社をグループ化

建築金物販売  
事業を営む会社  
をグループ化

製糸業から撤退

日本で初めて中国  
から冷凍野菜の  
輸入を開始

業界初の金属酸化  
物型湿度センサを  
開発

中国貿易の開始

中国貿易の開始

中国貿易の開始

東京・大阪の両証券取引所に株式を上場

電機部品分野に  
進出しコンデンサ  
の製造を開始

製糸業に進出

貿易部を新設し  
繊維・雑貨などの  
輸出を開始

生糸問屋として  
神戸に誕生

食品

物資

繊維

電子

1887年

1915年

1928年

1943年

1949年

1952年

1970年

1971年

1983年

2000年

2001年

2011年

2013年

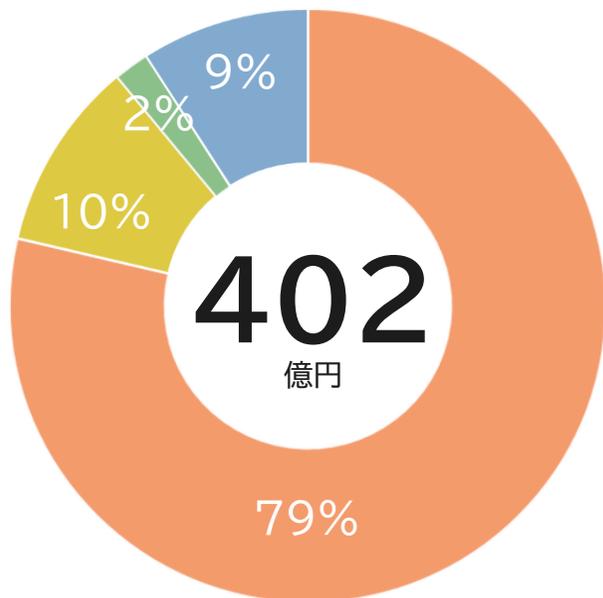
2017年

2021年

2022年

# 事業構成(2024年3月期) 売上高の約8割が食品関連

2024年3月期  
売上高



## 食品関連

316 億円



冷凍食品



農産物  
(落花生・ナッツ類など)

## 物資関連

41 億円



防災関連、建設機械、金属加工品、生活資材、ベアリング、試験機、建築金物・資材



## 繊維関連\*

7 億円



アパレル



テキスタイル

## 電子関連

36 億円



センサ



コンデンサ



計測機器



試験機

\*2025年3月期より「繊維関連」を「事業開発関連」に再編

- ◆ 幅広いネットワークを駆使して世界各地から選りすぐりの食品を調達し、徹底した品質管理により、安全・安心で豊かな食文化を提供

## 国内冷凍食品事業

業務用を中心とした冷凍食品の販売  
(冷凍野菜・冷凍調理品・冷凍水産加工品等)



生産の90%以上は海外の協力工場生産し、日本に輸入

当社基準の品質管理体制により、現地で食材を調達・加工・生産  
本社に独立した品質管理部門を設置し、安全・安心を担保

安全に対する高い信頼性が要求される医療・老健施設向けに強み

### 主な販売先

- ・ 医療・老健施設や産業給食
- ・ ホテルや飲食店などの外食
- ・ スーパー・ドラッグストアなど量販店
- ・ 食品メーカー

## 農産事業

各国から仕入れた落花生・ナッツ類の販売



落花生の輸入取扱量では国内トップクラス  
カシューナッツにおいても国内トップクラス

### 主な取引国

- ・ インド、ベトナム、米国、中国、ブラジル、オーストラリア、南アフリカ、ミャンマー、フィリピン、タイなど

### 主な販売先

- ・ 問屋やメーカーなど

## 海外事業

中国・香港市場における各種冷凍食品の販売

# 物資関連 「人・モノ・技術」をつなぎ、人々の豊かな暮らしづくりに貢献

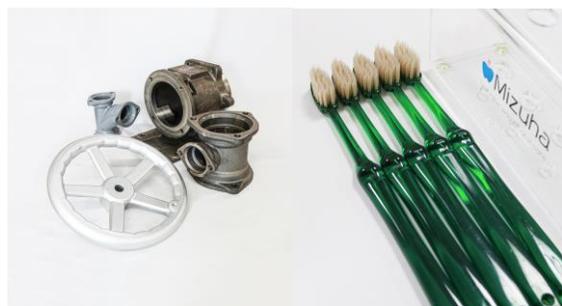
- ◆ 日本の優れた技術や製品を海外に輸出するとともに、安全・安心で豊かな暮らしを実現する  
建築金物・建築資材や生活用品を提供

## 防災コンサル事業



防災に関するコンサルティングから防災工事に必要な機械や資材の提供まで、防災技術全般の役務を提供

## 物資輸出入事業



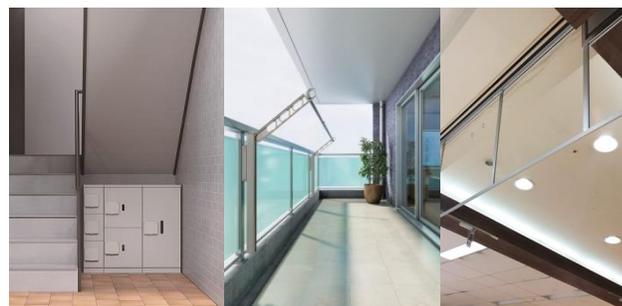
東南アジア製の高品質の鋳物製品や日用品を輸入・販売、日本トップメーカーの建設機械を輸出、歯ブラシや工業用ブラシなど幅広い用途に応じたブラシ等を販売

## 北米輸出事業



携帯端末などの信頼性試験に使用される各種試験機や顧客の技術課題を解決する高機能特殊ベアリングなどを北米へ輸出

## 建築金物・ガラス事業



宅配ボックス、バルコニー物干金物など暮らしに不可欠な建築金物を製造・販売、鏡・高透過ガラスなどを輸入・販売

# 電子関連(1) 先進の技術力と新しい挑戦により人々の豊かな生活を支える

- ◆ 独自の技術力と高い品質力を活かし、快適で安全な社会づくりに貢献する  
電子部品・製品・サービス・システムを提供

## センサ機器事業



白物家電・自動車向けからビル空調や  
ハウス栽培等、幅広い用途に向けた  
センサの開発・製造・校正

## 空気質を測るセンサ専門メーカー

### 光学式ホコリセンサユニット

大手家電メーカーの製品に多数採用

自動車、エアコン、空気清浄機、  
クリーンルームなど



車載用ホコリセンサユニット

### 温湿度センサ/ユニット

業界初の金属酸化物型湿度センサを開発  
センサ素子からユニットまで販売

自動車、エアコン、加湿器、  
除湿器、ビル空調など



温湿度センサユニット

## コンデンサ事業



世界初の高耐熱  
ポリプロピレンフィルムコンデンサを開発



フィルムコンデンサの研究開発、製造、販売  
産業機器分野、車載電子部品向けに展開  
長野・マレーシアの2拠点体制で研究開発と適地生産・適地販売を推進

## 試験機事業

落下・衝撃試験機の開発・製造



### 輸送・包装に関わる落下衝撃試験機

日本で初めて開発し製品化、国内トップシェア  
物流会社、各種メーカー、公的機関など

### スマートフォン用落下試験機

世界で初めて開発、世界トップシェア  
スマートフォン、タブレット、ノートPC、スマートウォッチ向けなど

### 電子部品・小型機器の耐衝撃評価装置

世界初の方式を開発、世界最高性能を実現  
ワイヤレスイヤホン、スマートフォン向けに搭載される各種部品向けなど



## 計測機器事業

各種産業用、物流向けを中心とした  
様々な計測機器の開発・製造・校正

## 日本で初めて製品化

### 高精度温湿度計測器

厳しい条件下での高精度温湿度計測技術

国内外研究機関、気象関連機関、  
ワクチン保管・輸送用途など  
物流分野(特に医薬品)市場向けを強化



鏡面冷却式露点計

### 振動・衝撃計測器

国内の重電物流分野でシェア独占  
振動・衝撃を数値化する技術

物流会社、各種メーカーなど



輸送環境記録計

- ◆ 新規事業の創出やビジネスモデルの確立を通じて、社会課題の解決やサステナブルな社会の実現に貢献

## 新規事業開発

「社会的価値」と「経済的価値」の両方を創出するCSV(Creating Shared Value:共通価値の創造)を理念として、新規事業や新たなビジネスモデルを開発

時代の変化を見据え、神栄の強みを活かしつつ、サステナブルな社会を実現することを目指して、新たな未来を創造

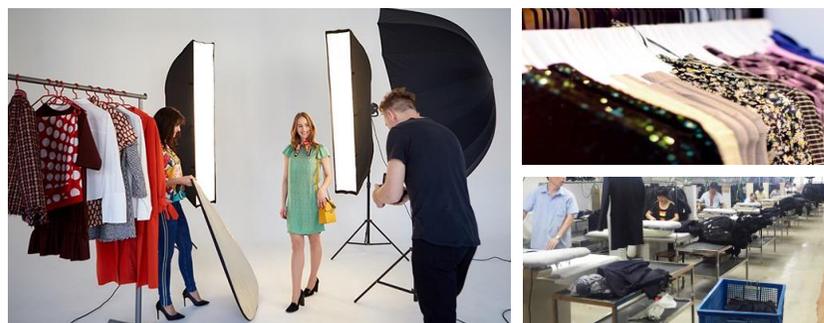
## 食品輸出事業

高品質な日本産の食品を選びすぐり、香港・東南アジアを中心に海外へ輸出

これまでに蓄積してきた独自の情報を基に、幅広いネットワークを活用することにより、より付加価値の高い個性ある商品を開拓し、安全・安心な日本の食品を海外で販売  
海外のお客様に食の新しい価値を提供

## アパレル通販事業

テレビショッピング向けの婦人服をメインに、企画から生産、輸入販売までの一貫したプロセスで、競争力のあるアパレル事業を展開



複数のブランドを取扱い、それぞれのブランドが持つ個性を大切にしながらも、トレンドを融合させたスタイリッシュなデザインで、お客様の多様化するライフスタイルに寄り添った魅力ある商品をお届け

# 拠点 神戸から世界へ、アジアを中心に北中米でも事業を展開

◆ グローバルニッチトップ  
国内外でトップシェアの製品やサービスを提供



\* Shinyei Kaisha Electronics (M) SDN. BHD.本社(マレーシア)

\* グループ会社(アジア)



日本-Japan

## 神栄株式会社

本社(神戸市)  
東京支店  
福岡支店  
神栄グループR&Dセンター(神戸市)  
沖縄営業所  
名古屋営業所

### グループ会社(日本)

#### 神栄テクノロジー株式会社

本社(神戸市)  
つくば事業所  
福岡工場

#### 神栄リビングインダストリー株式会社

本社(神戸市)

#### 神栄ホームクリエイト株式会社

本社(大阪府東大阪市)  
東京営業所  
福岡営業所

#### 神栄キャパシタ株式会社

本社(神戸市)  
長野工場

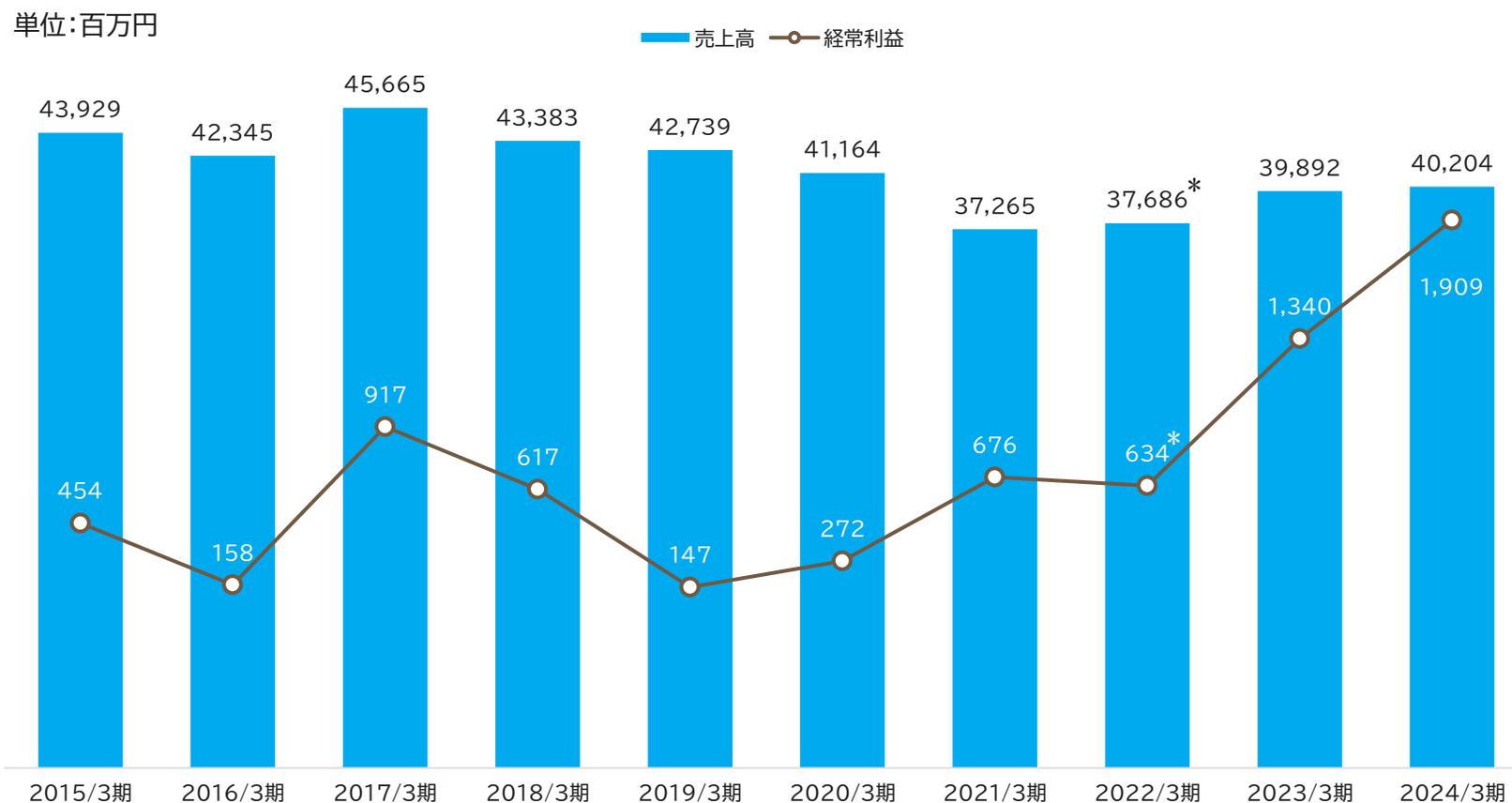
### グループ会社(米州)

#### Shinyei Corp. of America

本社(ニューヨーク)  
メキシコ事務所

# 業績推移 前期比:売上高+0.8%、経常利益+42.5%と大幅増益

- ◆ 冷凍食品分野が大きく伸長した食品関連と北米向け等のハードウェアの輸出や建築金物・資材分野が好調であった物資関連が貢献
- ◆ 収益を安定化するための不採算事業からの撤退やコロナ禍による売上減少はあったものの、収益認識に関する会計基準等の適用による影響を考慮した実質的な売上高では、コロナ禍前を上回る水準に回復



\* 2022年3月期より収益認識に関する会計基準等を適用しており、従来の方法に比べ売上高は1,883百万円、経常利益は8百万円減少

# 中期経営計画

(2025年3月期(2024年度)～2027年3月期(2026年度))

## 神栄チャレンジプロジェクト2026

～創立140周年に向けた新たなアプローチ～

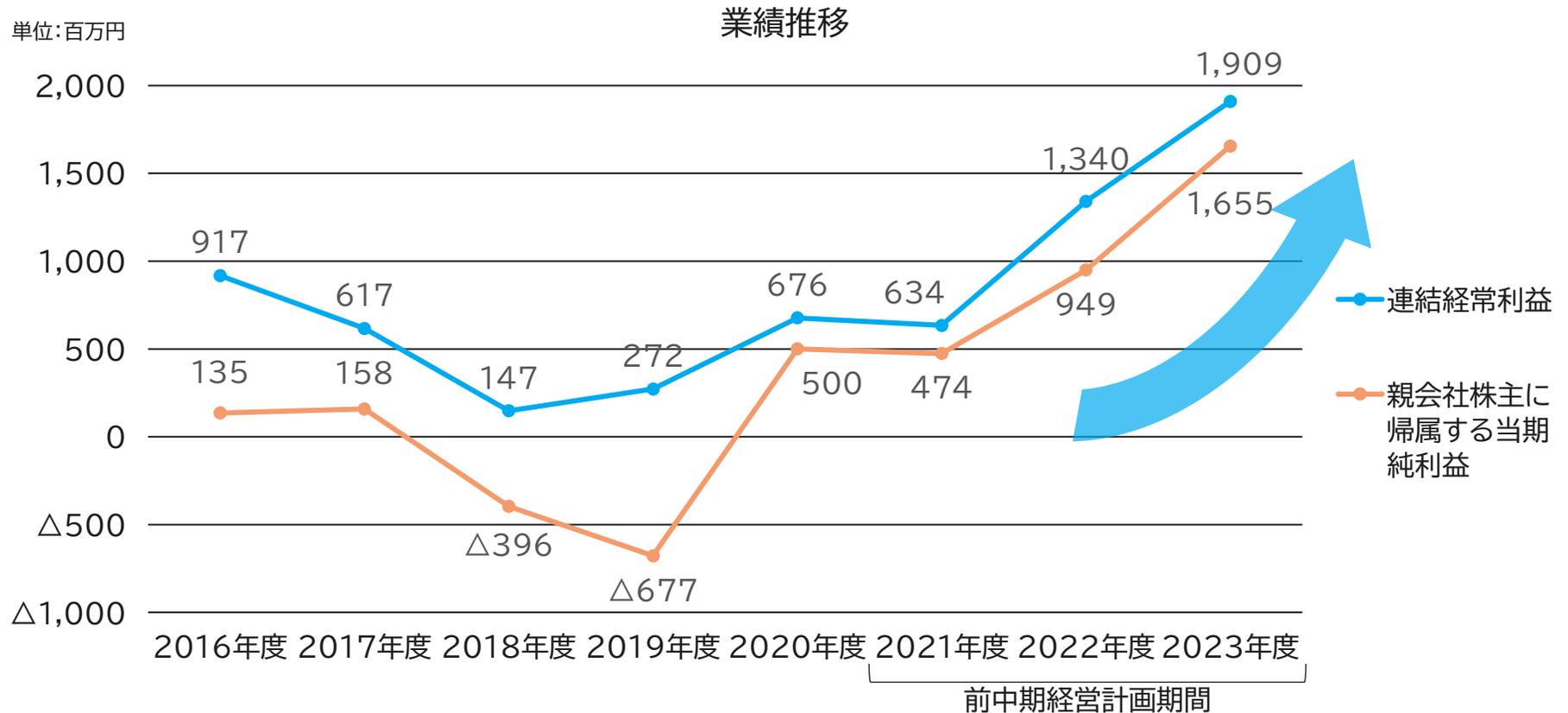


# 前中期経営計画の振り返り

前中期経営計画最終年度(2023年度)の連結経常利益目標1,250百万円を1年前倒しで到達するなど大幅に業績改善

- ◆ 複数の不採算事業により一時期において業績が悪化していたが、2019年度以降、事業構造を改善
- ◆ 各事業において内外の環境変化にも適切に対処し、特に食品関連・物資関連が大幅増益
- ◆ 長年利益を圧迫してきた多額の訴訟関連損失や不採算事業に係る減損損失など、特別損失要因が低減

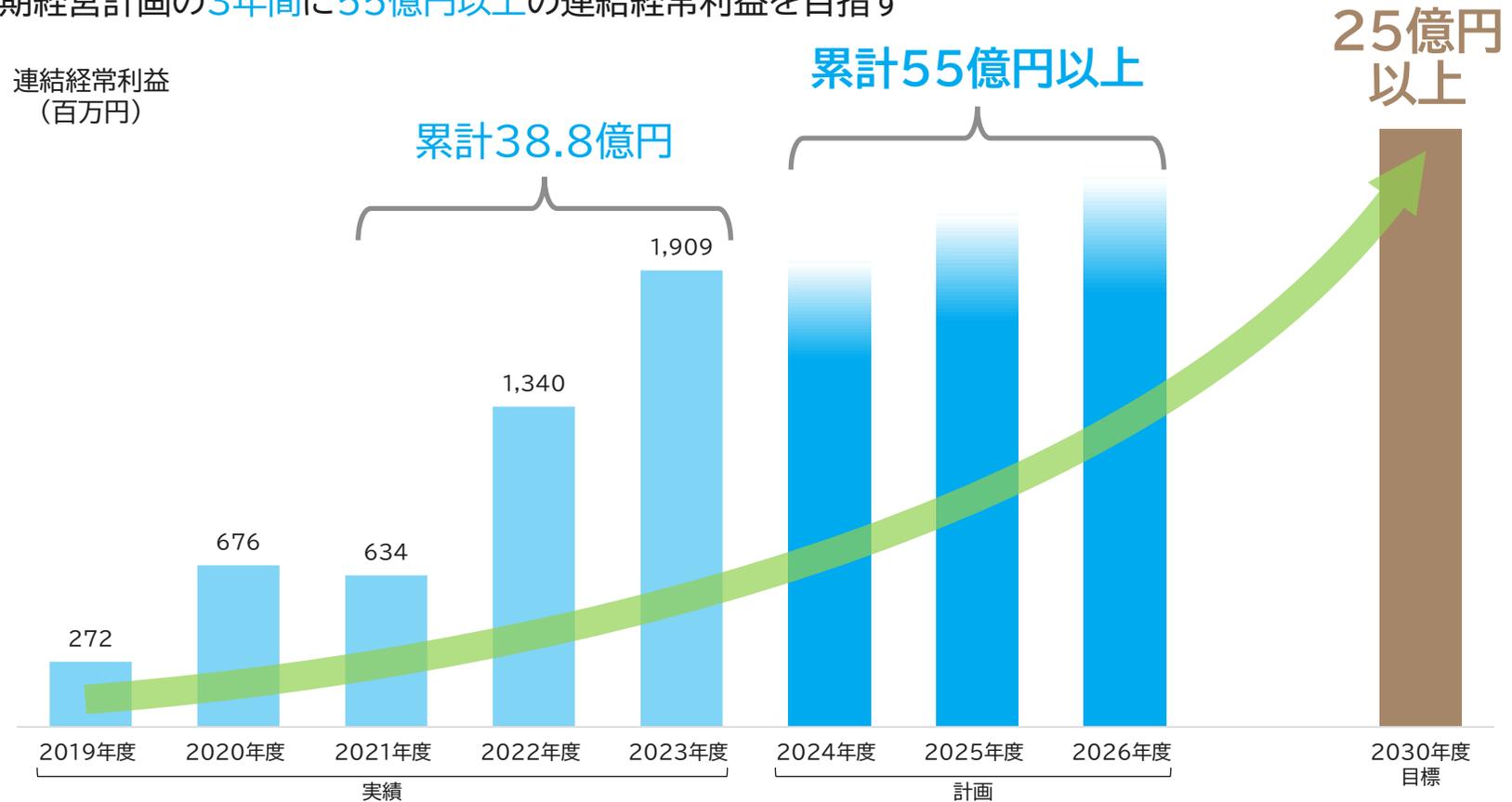
以上により、「安定的に連結経常利益10億円を創出できる企業・収益体質」を構築し、次期中期経営計画に向けた成長の基盤を確立



# 中期経営計画「神栄チャレンジプロジェクト2026」の大綱

2030年度目標：連結経常利益 25億円以上、ROE 12%以上維持

- ◆ 2027年5月に今以上に健全で強靱な企業体質を持った状態で創立140周年を迎える準備のための3年間
- ◆ プロアクティブな人材\*の育成を通じて収益基盤・収益体質のさらなる強化を図る  
\*自分自身や環境に影響を及ぼす先見的・変革的な行動を自ら取れる人材
- ◆ 本中期経営計画の3年間に55億円以上の連結経常利益を目指す



## 数値目標(連結)

◆ 経常利益	(3年累計)	55億円以上
◆ 自己資本比率	(2026年度末)	35%以上
◆ ROE	(2026年度)	15%以上
◆ 配当性向	(各年度)	30%程度
◆ 有利子負債残高	(2026年度末)	120億円以下
◆ PER	(2026年度末)	12倍以上

## 基本方針

- ◆ 競争力のある事業ポートフォリオの組成による安定した収益の確保
- ◆ 人的資本経営の推進と機会付与による人材力拡充や次世代育成・登用による事業承継の基盤づくりおよび健康経営の推進
- ◆ 社内外と協働する企業風土の醸成
- ◆ サステナブル経営の推進、CSV\*をベースとするビジネスの展開
- ◆ DXの推進やデジタル技術の活用による、新たなビジネスモデルの構築、生産性改善・業務効率向上
- ◆ コーポレートガバナンス・コンプライアンス・リスクマネジメントの強化継続

\*Creating shared value(共通価値の創造):企業が自社の強みを用いて、事業を通じて社会的課題の解決、すなわち「社会価値(環境、社会へのポジティブな影響)」と「経済価値(事業利益、成長)」の両立を目指す考え方

# セグメントの再構成～「繊維関連」を「事業開発関連」に再編～

## 事業開発室の新設と事業開発本部の編成

当社グループでは、2023年10月1日付にて事業開発室を設置し、新規事業や新たなビジネスモデルの開発を強力に推進。2024年4月1日付では、事業開発室に加え、今後の事業拡大を目指して注力するアパレル通販事業と日本産食品の海外輸出事業を併せた事業開発本部を新たに編成。セグメントも「事業開発関連」を新設。社会課題の解決やサステナブルな社会の実現に貢献し、同時に収益拡大にもつながる事業の多様化を目指し、新規事業や新たなビジネスモデルの開発、将来性が見込まれる事業の発展に取り組む。

### スクラップ&ビルド

不採算事業からの撤退により収益体質の改善を進めてきた



スクラップを終えて次はビルドの段階



既存事業に関連し、当社グループの強みを活かせるものを前提としつつ、社会課題を解決するという社会的価値を創造すると同時に、収益にもつながる新たなビジネスの展開を目指す

### 事業開発本部のパーパス

共通価値の創造を体現し、  
サステナブルな未来を紡ぎます

社会が抱える課題に果敢に挑戦し、  
会社の成長にもつながる持続可能な  
社会を築くことを目指して、価値ある  
未来をつくりあげていく

# 中期経営計画「神栄チャレンジプロジェクト2026」における事業戦略(1)



## 食品関連

強固なサプライチェーンをベースにさらなる業容拡大を図り、成長ドライバーとして神栄グループを力強くけん引

### 国内冷凍食品事業

強固なサプライチェーンを持つ強みを磨きながら、多様なニーズに対応した商品開発の推進や、調達・販売ルートの拡充を進め、既存分野での深耕と業容拡大による持続的安定成長基盤を確保し、さらなる収益力の強化を図る

### 農産事業

ナッツ・落花生類の原料取引でのシェア拡大と採算性の向上の両立で、持続的成長力のある事業基盤の確立を目指す

### 海外事業

日本国内冷食販売モデルの海外展開をさらに推進し、収益基盤の確立と成長軌道を確保できるレベルに到達する

## 物資関連

前中期経営計画中に確立した収益基盤を維持・拡大

### 防災コンサル事業

アゼルバイジャンの社会インフラ関連の調査・分析を行い、ソリューションの提供につなげ、社会課題解決に貢献する

### 北米輸出事業

日本の優れた技術・製品の輸出による米国産業への貢献をさらに進める

### 物資輸出入事業

生活関連物資の輸出入を通じての人々の豊かな暮らしづくりに貢献する

### 建築金物・ガラス事業

建築雑金物の総合ファブレスメーカー第2位の確固たる存在感を示すとともに、輸入ガラスのナンバーワン独立系インポーター&ディストリビューターとして機能する

## 電子関連

### センサ・計測・試験 機器事業

## 高収益事業モデルへの転換を成し遂げ、 収益力回復と将来の成長に向けた基礎固め

民生用途のセンサ大量販売モデルから産業・物流・車載用途向けに、より付加価値の高い製品の開発販売へのシフト、顧客のDX化ニーズのプラットフォーム\*としての進化によるシステムやサービス事業で、高収益事業モデルの基盤作りを実現する

\*各種センサを使って空気質を測ろうとする企業に対して、センサ機器単体だけでなく、データ収集や保管を行えるシステムやサービス、クラウド機能まで総括的に提供すること

医薬品物流分野での安定した収益を確保する事業基盤の確立を実現する

### コンデンサ事業

製品開発による産業・新エネルギー用途での受注基盤の確保に加え、車載向け量産品を安定的・継続的に受注できる新たな事業基盤を確立し、収益力と成長基盤を持つ事業を目指す

## 事業開発関連

### 新規事業開発

## 事業開発コストが先行するも、新規事業や事業基盤の確立にまい進

CSVの体現による新規事業を開発する

### アパレル通販事業

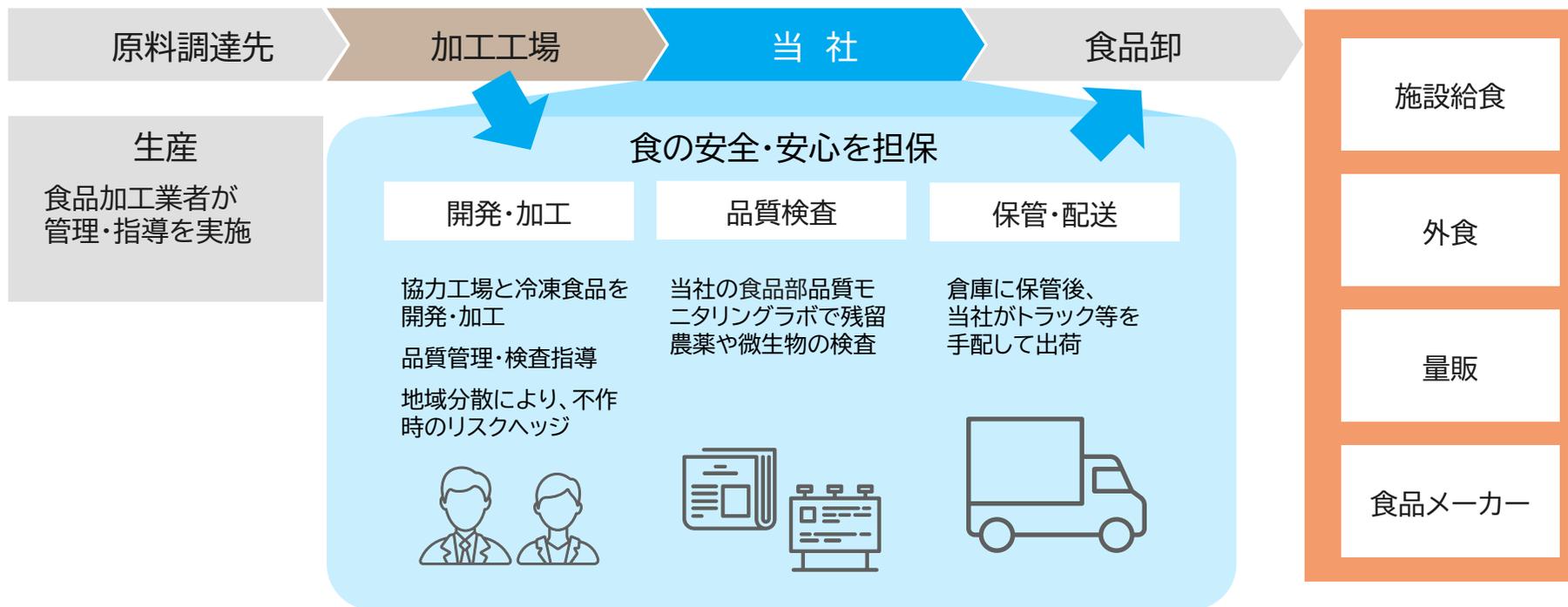
中高年向けファッションを牽引するテレビショッピング業界の風雲児として躍り出たうえで、このビジネススキームを他の通販ルートへも活用して事業の拡大を目指す

### 食品輸出事業

日本製品の海外輸出における持続可能なサプライチェーンを確立する

# 国内冷凍食品事業の強み(1) 「食のモノづくり商社」 ～高い信頼・強固なサプライチェーン～

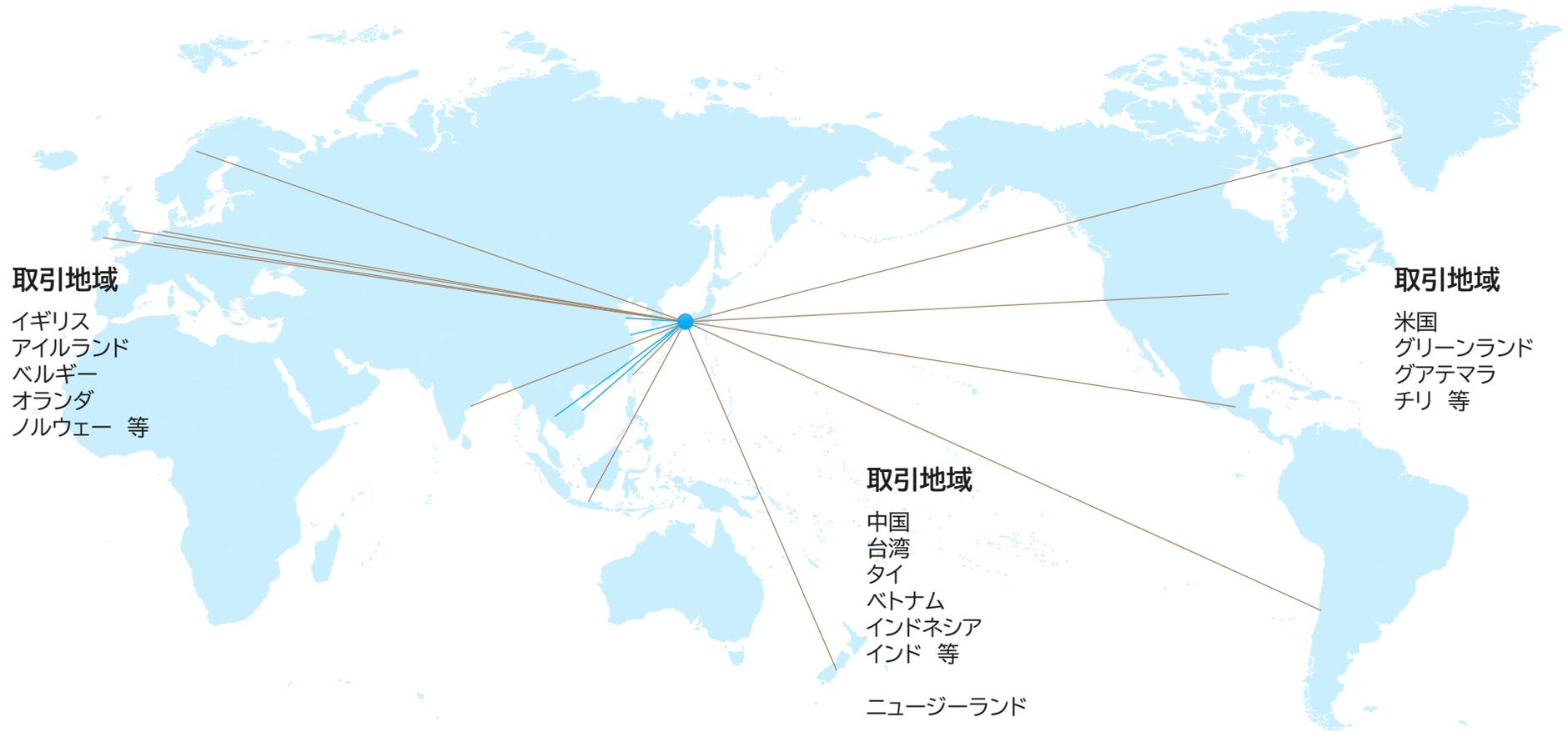
- ◆ 野菜・水産品等の冷凍食品の加工を中国を中心に国内外約130社の加工工場に委託、当社スタッフが生産工程と品質をチェック
- ◆ 輸入冷凍食品は食品部品質モニタリングラボで残留農薬や微生物などの品質を検査し、加工工場に品質指導
- ◆ 高い信頼性が要求される老人ホームなどの施設給食に強み、量販店や食品メーカーなど内食需要向けも強化中



幅広い調達先を持ち、コロナ禍や災害等による仕入れリスクを分散

## 国内冷凍食品事業の強み(2) グローバルに広がる原料調達ネットワーク

- ◆ 商社のグローバルネットワークを活かして、野菜や水産物を中国・東南アジア・米国等で加工して日本へ輸入
- ◆ 海外にも、長期に渡る取引実績で信頼関係を築いた20か国以上の現地パートナーから食材を輸入



# 国内冷凍食品事業の強み(3) 高度な品質管理体制

- ◆ 独立した品質管理部門を持ち、残留農薬検査や微生物検査などを実施、安全・安心な食材を提供
- ◆ 現地スタッフや品質管理スタッフが加工工場を訪問し、生産現場の確認と品質管理指導を実施
- ◆ 検査の結果、基準値をオーバーすれば出荷停止



## タイ・ベトナムからの調達拡大・品質管理強化

国内冷凍食品事業の持続可能な安定的拡大に向け、サプライチェーンの各段階の強化を図る中で、特にタイ・ベトナムからの調達拡大に注力。現地事務所スタッフと日本の品質管理部門スタッフが連携し、品質を重視した安全・安心な商品を提供。

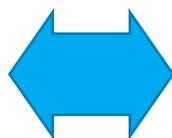
### 現地事務所 取扱商品・数量が徐々に拡大

- ・協力工場の管理  
工場に対する生産や品質面での指導、圃場(原料となる野菜の畑)の管理
- ・新規工場の開拓  
新たな協力工場の探求

### 品質管理部門

### 新型コロナによる行動制限解除後は現場主義に回帰し品質管理をより強化

- ・現地事務所スタッフの教育  
現地事務所スタッフを日本に招き、あるいは現地に渡航して、品質管理に関する教育を実施
- ・工場に対する監査  
現地に渡航して、工場の生産・品質管理体制を直接チェック
- ・設備の提供  
生産・品質管理に必要な装置・検査機を工場に設置



タイ産いんげん

調理例



タイ産自然解凍オクラスライス

調理例



ベトナムの協力工場



ベトナム産カットコーン

調理例

## その他の地域からの調達拡大・物流機能強化

サプライチェーンの各段階の強化においては、タイ・ベトナム以外の地域からの調達拡大にも注力。また、物流機能も強化することで、調達と販売の両面で安定的な商品供給が継続できる体制を構築。

### 商品調達

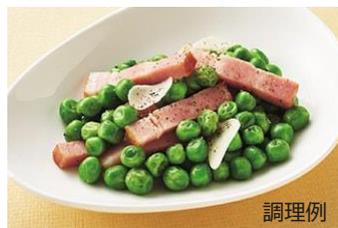
強みである既存の強固な協力工場網からの安定的な調達に加え、さらなる調達網の多角化に取組み、ニーズに応じた商品の供給や産地の多様化を強力に推進

#### ・新規取引国の開拓

南米エクアドル、ミャンマー、インドでの取引を開始

#### ・取引強化

欧州産や日本産の取扱量を拡大



調理例

欧州産グリーンピース

### 物流機能

北海道から沖縄まで全国各地に物流拠点(デポ)を設け、迅速かつきめ細やかな配送に対応することができる強力な物流網に強み

・物流拠点の整備や増強を進め、配送効率のさらなる向上を推進

・物流を取り巻く環境変化に対応し、顧客ニーズに応える高い物流品質を維持

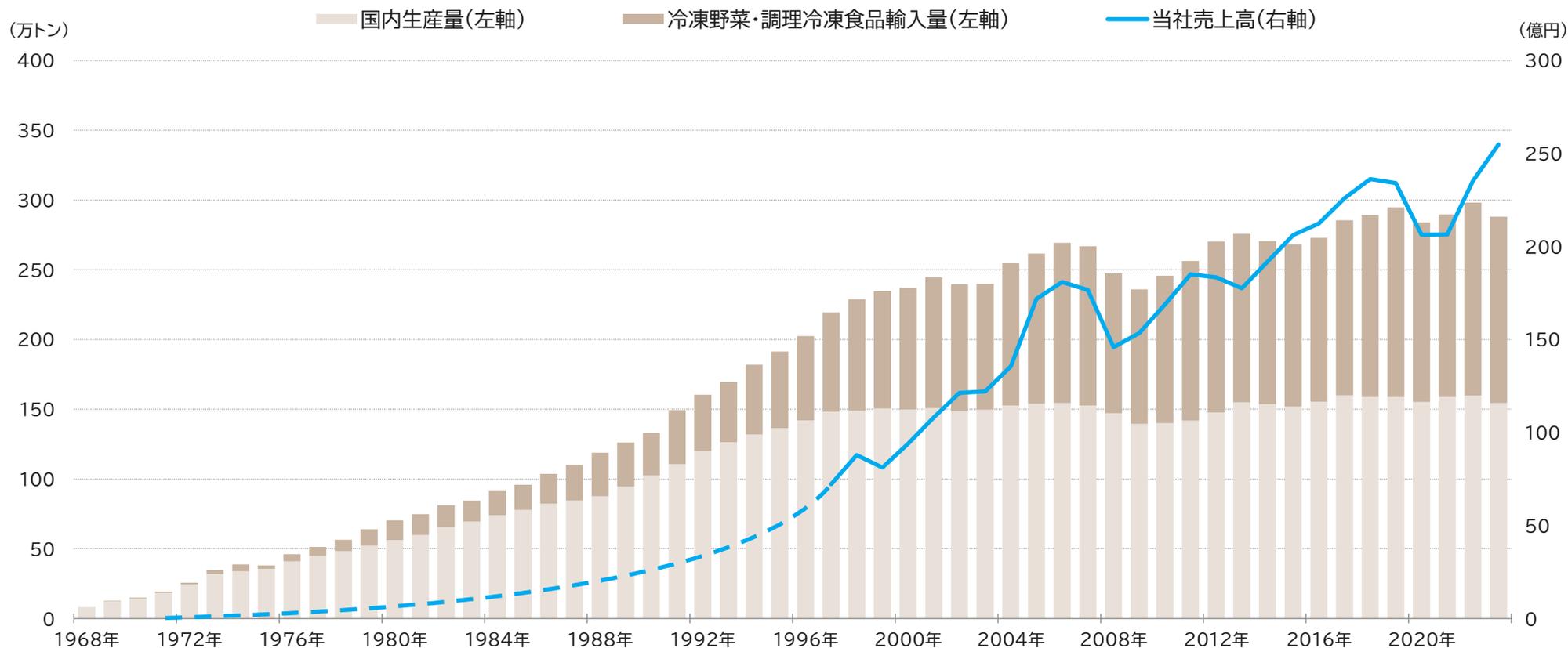
主要物流拠点

沖縄県

# 国内冷凍食品事業の推移

- ◆ 1971年に開始した冷凍食品事業は、コロナ禍影響により2021年3月期に売上高が大きく減少したものの、24年3月期には、過去最高の254億円まで伸長、過去20年間では年平均4.2%増収
- ◆ 2023年の冷凍食品消費量は288万トンで過去20年間で年平均1.0%増

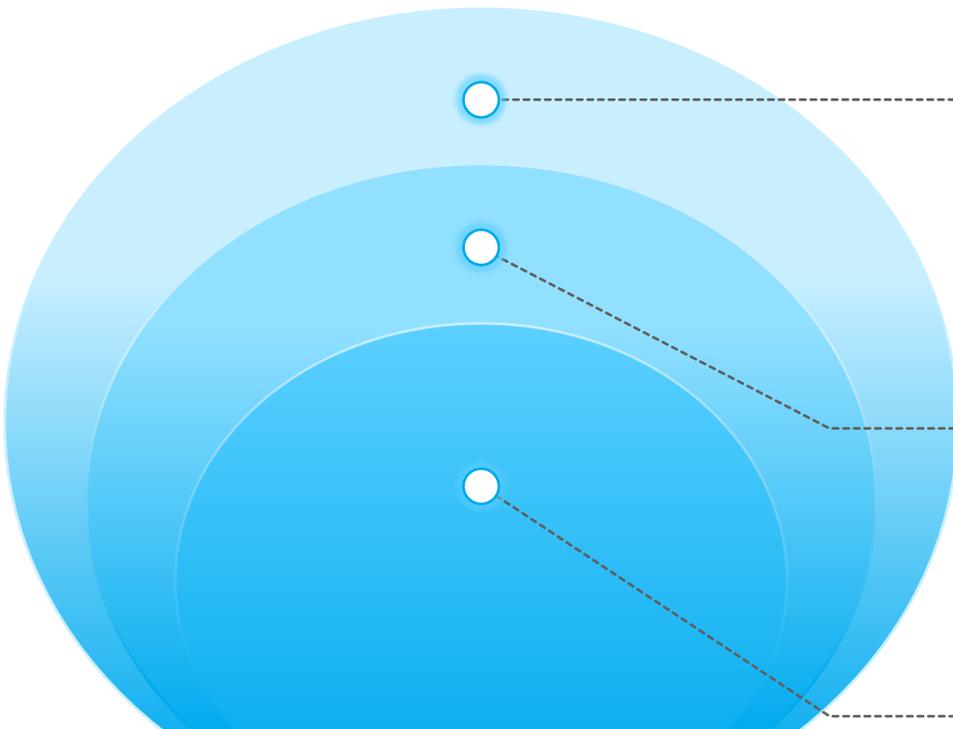
冷凍食品 当社売上高・国内市場



(出所) 国内生産量と調理冷凍食品輸入量は日本冷凍食品協会、冷凍野菜輸入量は「日本貿易統計」(財務省)

# 電子事業の強み(1) センサ開発からシステム提供まで展開

- ◆ 光学式ホコリセンサや高分子湿度センサを初めて量産化し、いずれもトップクラス
- ◆ センサや計測技術・校正技術をコアに、計測機器の販売からシステム・サービスに展開し高付加価値化を狙う
- ◆ 納入先も民生用空調機器メーカーから自動車やプラント、物流・倉庫業界へ拡大



**ソリューションサービス**

- 温度・温湿度計測サービス
- 輸送環境調査
- 校正・修理サービス等

**物流・倉庫業界** - 倉庫・トラック・コンテナなどの温湿度管理、マテハン機器異常検知システム

**計測機器**

- 温湿度計測機器
- 加速度計
- 温度ロガー等

**産業用用途** - ビル空調・クリーンルーム、食品・医薬関連、塗装工程等

**センサ  
センサユニット**

- 湿度センサ
- 温湿度センサ
- ホコリセンサ等

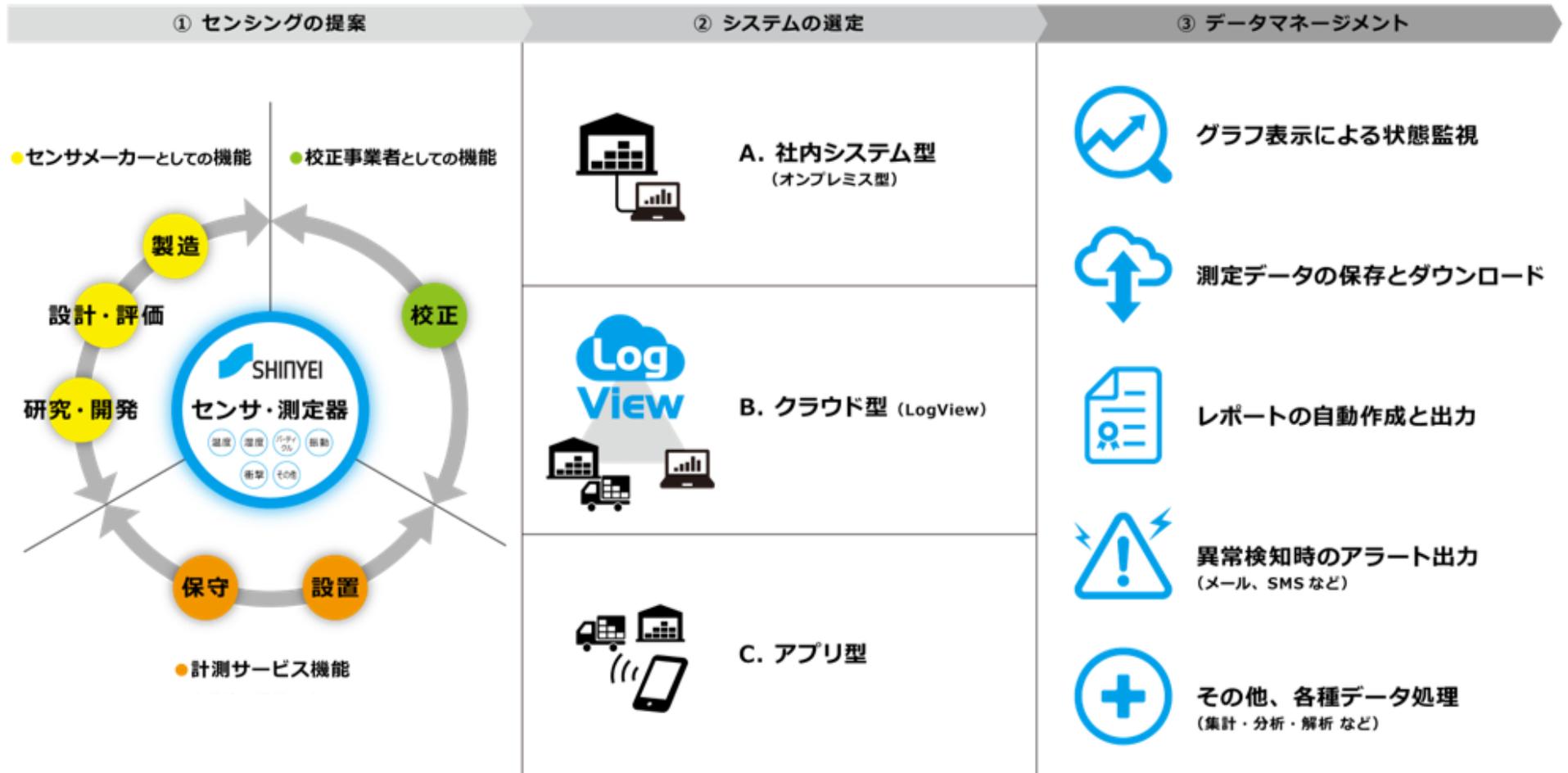
**民生用・自動車用途** - エアコン・空気清浄機、加湿・除湿器、カーエアコン等

**校正技術**  
(計測数値の正確さを検証)  
湿度に関する国際MRA\*1(相互承認)対応JCSS\*2認定事業者

\*1 国際MRA(Mutual Recognition Agreement) : 相手国向け機器の認証を自国で実施することを可能とする協定  
\*2 JCSS : Japan Calibration Service System(計量法)トレーサビリティ制度、計量法に基づく日本の校正事業者登録(認定)制度

# 電子事業の強み(2) IoTシステムによるDX化支援サービス

- ◆ センシングの提案からシステムの選定、データ管理まで、IoTシステム全体をワンストップで提案し提供する「S3 PLATFORM®」(SHINYEI SMART SENSING PLATFORM)を開始
- ◆ ホコリセンサや湿度センサで高い世界シェアを持つセンサメーカーならではの技術力に基づき、計測データの高い信頼性を確保、目的や用途に応じた最適なシステムにより正確に記録・管理し、様々に活用・出力が可能
- ◆ 幅広い市場・顧客にアプローチできる、高付加価値・高収益の新たなビジネススキーム



## メディカルグループと医薬品流通の最適化モデルを構築

「S3 PLATFORM<sup>®</sup>」を活用した医療用医薬品保管等のクラウド型温度監視システムを開発し、メディカルグループの高機能物流センターに導入。GDPガイドライン<sup>\*1</sup>に準拠した厳格な温度管理に、新型コロナワクチンの物流温度管理で実績がある温度ロガー「G-TAG<sup>®</sup> TempView<sup>®</sup>」のPoE<sup>\*2</sup>対応改良型を採用。クラウド型データ管理システム「LogView」により、測定データの一元管理に対応。

GDPガイドライン

医薬品の保管・輸送での  
厳格な温度管理が必要

メディカルホールディングスとの資本業務提携



メディカルホールディングス



豊かな社会へのパートナー 神栄グループ

神栄株式会社



G-TAG<sup>®</sup> TempView<sup>®</sup>

将来的には保管から輸送までの  
全行程において本システムを展開

医薬品物流における一気通貫でのトレーサビリティの可視化を目指す

\*1 医薬品の適正流通(GDP)ガイドライン:高水準の品質保証の維持と医薬品の流通過程での完全性を保証するためのガイドライン

\*2 PoE(Power Over Ethernet) :イーサネットケーブル(LANケーブル)で通信データに加えて、電力を供給する技術

## マテハン機器異常検知システムをメディパルグループの高機能物流センターへ導入

「S3 PLATFORM®」を活用した、物流倉庫内で荷物の運搬や保管を省力化・自動化・効率化するために使用するマテリアルハンドリング(マテハン)機器の異常を検知し、物流機能が長時間停滞することを未然に防止するためのシステムをメディパルグループと共同で開発。2023年9月1日に竣工した株式会社メディセオの高機能物流センター「阪神ALC」に導入され、今後、順次、導入先を拡大していく予定。

### 特長

マテハン機器の経時的な状態変化を捉えるだけでなく、これまで検知が困難とされていた、稼働中のマテハン機器への異物落下や電動モーター・ギア等の破損などにより突発的に発生する異常についても、独自のアルゴリズムを見いだすことにより検知が可能



阪神ALC(株式会社メディパルホールディングス提供)

## システム・サービス分野を拡充

電子事業の**収益拡大**に向け、独自の技術力と高い品質力を活かし、**高付加価値な製品・システム・サービスの開発**を進め、**高収益体質**を構築するための**事業構造の転換**を加速。

### パーティクルセンシングモニター

#### 製品

- ・クリーンルーム・食品工場などの**清浄度管理**
- ・塗装工程や各種製造工程などにおける**粒子監視**
- ・作業環境における**労働安全衛生管理**



パーティクルセンシングモニター

### 空気清浄度管理システム

#### システム

パーティクルセンシングモニターを複数台使用し、クリーンルームなどにおける**空気清浄度を一元管理するシステム**



### 空気清浄度測定サービス

#### サービス

高度な空気清浄度管理が求められる半導体・光学部品・フィルム・電池などの各種製造工程において、**パーティクルセンシングモニターで測定したデータを分析し、改善提案を行う測定サービス**

**ホコリセンサ**で培ってきた粒子計測の技術とノウハウを基に開発した**製品**、これを活用した**システム**や**サービス**の提供へと複合的に展開

# 中期経営計画「神栄チャレンジプロジェクト2026」 数値目標(連結)(1)



・経常利益：目標 3年累計 55億円以上

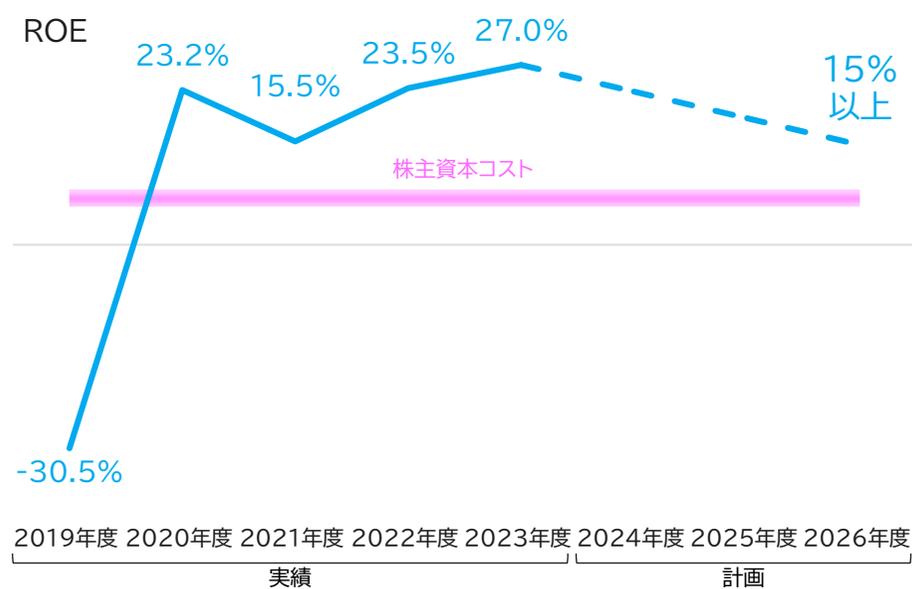
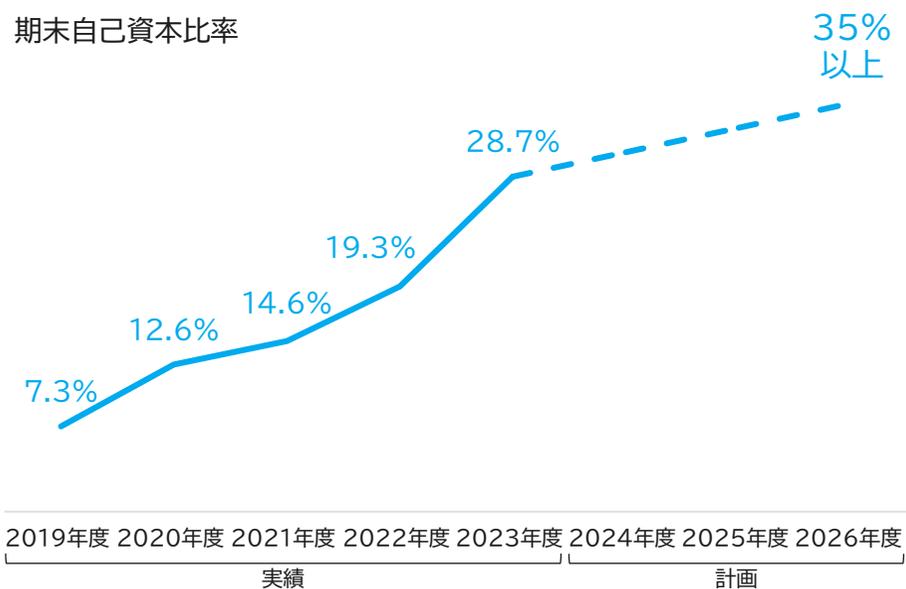
◆前中期経営計画(3年累計 38.8億円)から40%以上の増益を計画

単位:百万円	2019年度 実績	2020年度 実績	前中期経営計画			本中期経営計画
			2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度～2026年度 計画
経常利益	272	676	634	1,340	1,909	累計 5,500以上
			累計 3,884			
食品関連	1,440	1,304	1,072	1,667	2,103	累計 6,600以上
			累計 4,843			
物資関連	276	276	377	597	627	累計 1,700以上
			累計 1,602			
繊維関連	△170	30	△57	△101	△23	
電子関連	109	368	449	308	241	累計 1,100以上
			累計 999			
事業開発関連						累計 0以上
全社費用等	△1,383	△1,302	△1,208	△1,131	△1,039	累計 △3,900以内
			累計 △3,379			

# 中期経営計画「神栄チャレンジプロジェクト2026」 数値目標(連結)(2)

- ・期末自己資本比率：目標 2026年度 35%以上
- ・ROE：目標 2026年度 15%以上

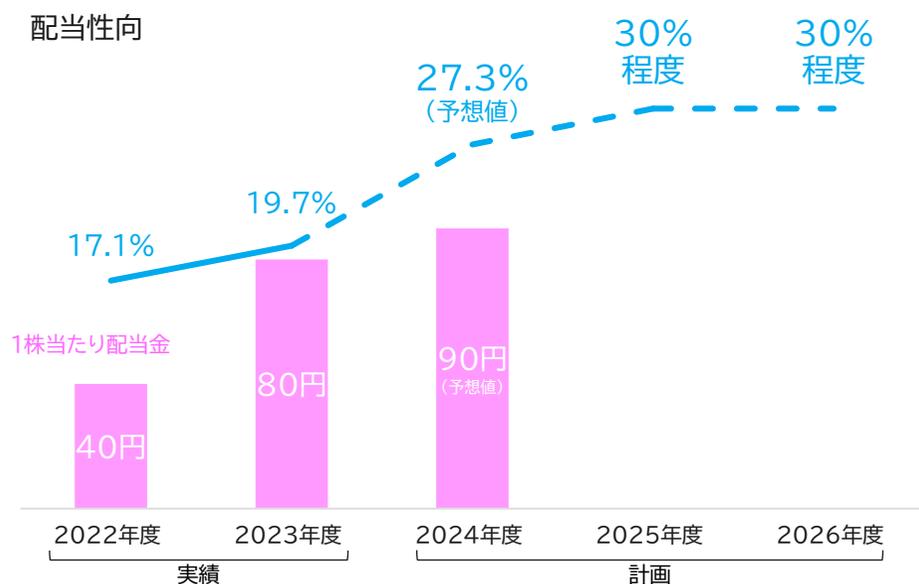
- ◆ 財務体質の強化と収益性のバランスを考慮
- ◆ 持続的な企業成長の基盤となる自己資本は利益計上による拡充を基本
- ◆ 自己資本が増加しても、株主資本コスト(6~8%程度)を大きく上回るROEを維持



# 中期経営計画「神栄チャレンジプロジェクト2026」 数値目標(連結)(3)

## ・配当性向：目標 各年度 30%程度

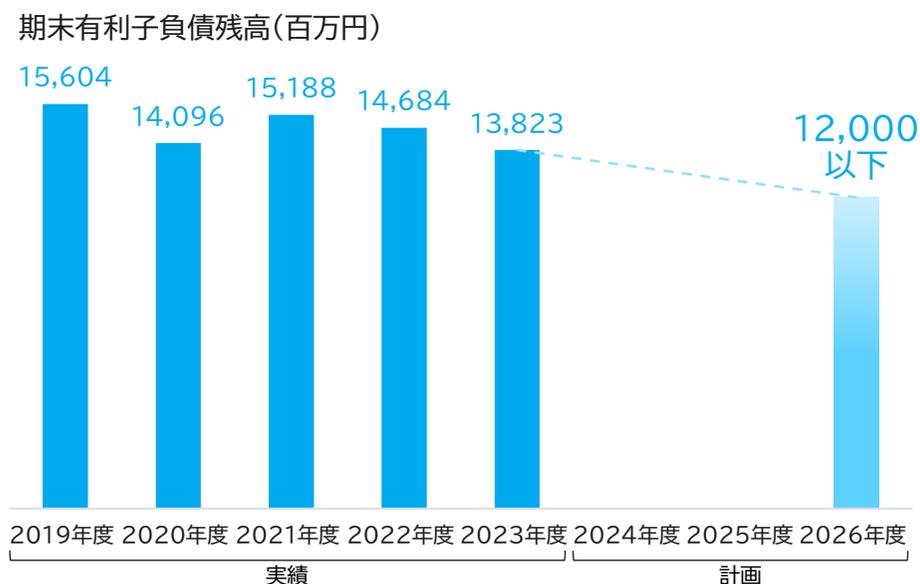
- ◆ 株主の皆さまへの利益還元は経営の最重要課題との位置付け
- ◆ 財務体質の強化を考慮しつつ、明確な数値基準を設定し利益に応じた分配を実施
- ◆ 2024年度～2026年度の各年度の期末日を基準日とする各期末配当において実行



# 中期経営計画「神栄チャレンジプロジェクト2026」 数値目標(連結)(4)

## ・期末有利子負債残高：目標 2026年度 120億円以下

- ◆ 財務体質強化のため、利益計上に加え運転資金の効率運用などにより有利子負債のさらなる圧縮を推進
- ◆ 売上伸長に伴う運転資金増加には柔軟に対応
- ◆ 3年間で約20億円の削減を計画

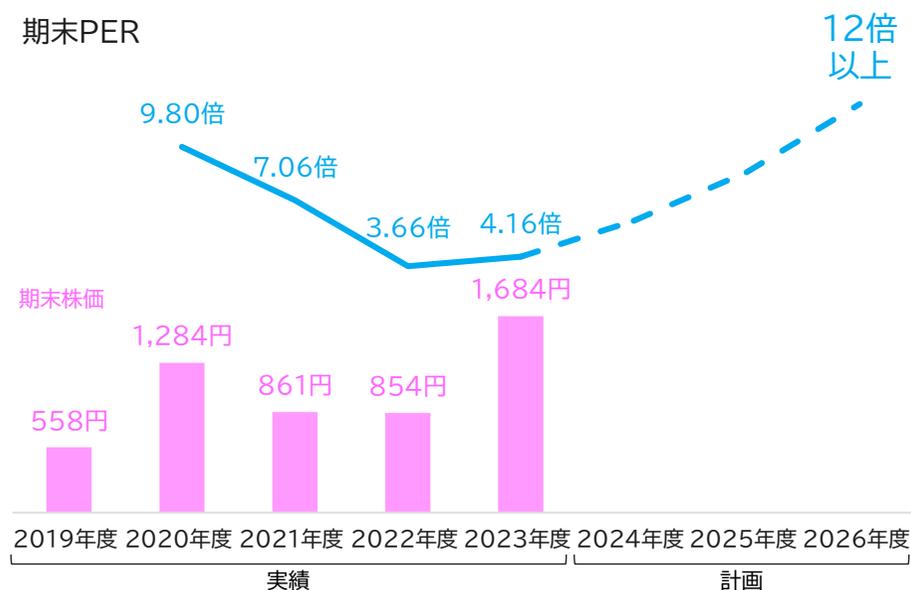


\*期末有利子負債には、割引手形の期末残高を含む

# 中期経営計画「神栄チャレンジプロジェクト2026」 数値目標(連結)(5)

## ・期末PER：目標 2026年度 12倍以上

- ◆ 好調な業績を背景としたIRの強化により、株式市場での認知度を高め株式流動性（時価総額や出来高）を向上
- ◆ 決算説明資料など、株式市場が求める情報を適時適切に発信
- ◆ 個人投資家向け説明会の継続をはじめ、神栄グループの事業や今後の成長性に対する理解促進につながる様々な取組みを推進



# 中期経営計画「神栄チャレンジプロジェクト2026」 数値目標(連結)まとめ



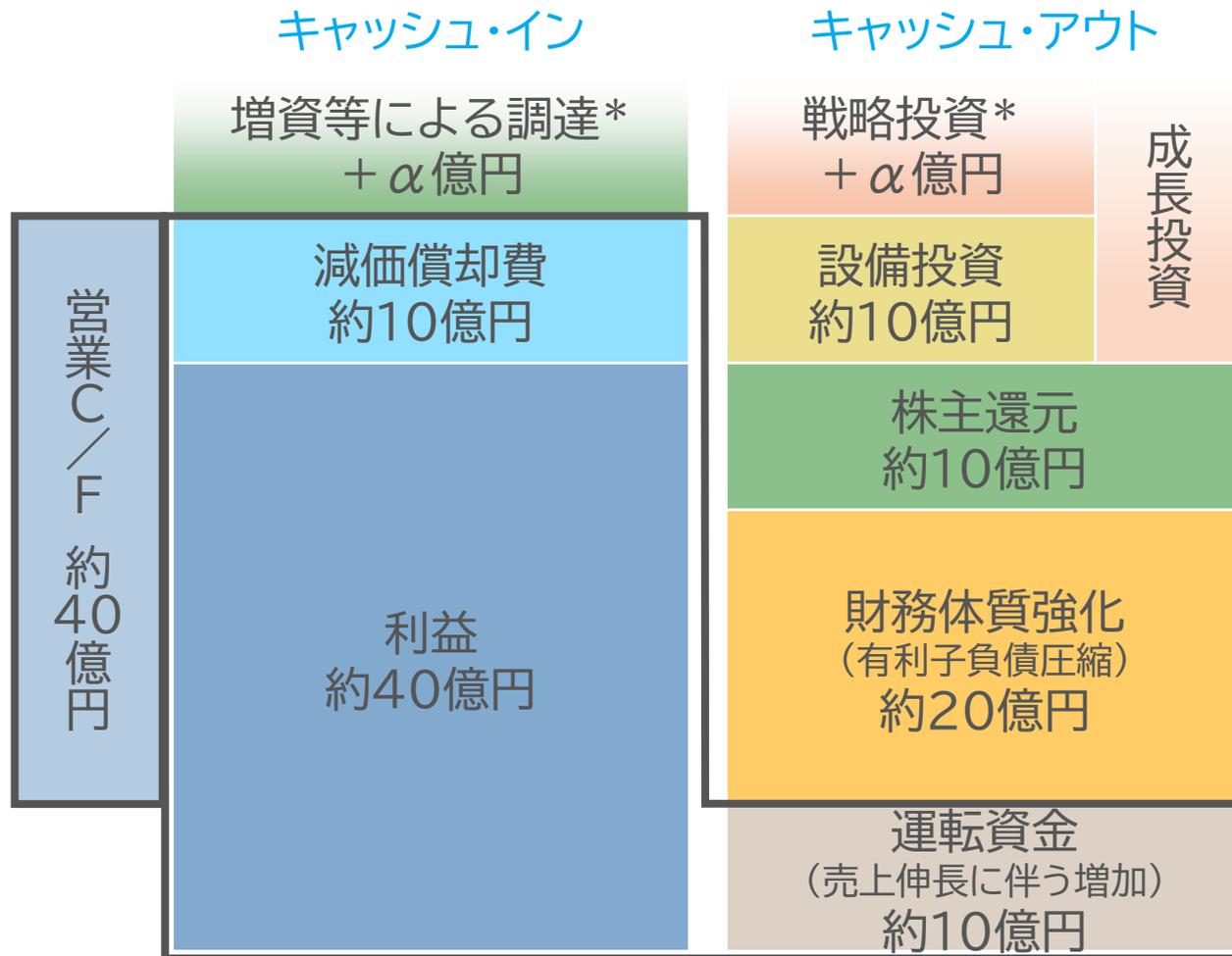
	2019年度 実績	2020年度 実績	前中期経営計画			本中期経営計画		
			2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 計画	2025年度 計画	2026年度 計画
経常利益 (百万円)	272	676	634	1,340	1,909	累計 5,500以上		
期末自己資本比率 (%)	7.3	12.6	14.6	19.3	28.7	—	—	35以上
ROE (%)	△30.5	23.2	15.5	23.5	27.0	—	—	15以上
配当性向 (%)	—	—	—	17.1	19.7	30程度		
期末有利子負債残高 (百万円)	15,604	14,096	15,188	14,684	13,823	—	—	12,000 以下
期末PER (倍)	—	9.80	7.06	3.66	4.16	—	—	12以上
(参考)期末株価 (円)	558	1,284	861	854	1,684			

\*期末有利子負債には、割引手形の期末残高を含む

# 中期経営計画「神栄チャレンジプロジェクト2026」 キャッシュ・アロケーション計画



3年間累計(連結経常利益55億円を前提)



\*戦略投資および増資等による調達は、必要な場合に必要額を行う

# 業績等



# 2024年3月期 業績概要



- ◆ 売上高は前期比+0.8%の増収、食品関連と物資関連が増加
- ◆ 増収に加え利益率の改善もあり、経常利益は前期比+42.5%、当期純利益は+74.3%と大幅増益となり過去最高益
- ◆ 期末配当は、利益に応じた株主還元を実施する観点から、前期比倍増となる1株当たり80円を実施

	2023/3期		2024/3期		期比較	
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	売上比増減 (pt)
売上高	39,892	100.0	<b>40,204</b>	<b>100.0</b>	<b>+0.8</b>	—
売上総利益	8,003	20.1	<b>8,593</b>	<b>21.4</b>	<b>+7.4</b>	<b>+1.3</b>
販管費	6,627	16.6	<b>6,799</b>	<b>16.9</b>	<b>+2.6</b>	<b>+0.3</b>
営業利益	1,375	3.4	<b>1,793</b>	<b>4.5</b>	<b>+30.4</b>	<b>+1.0</b>
経常利益	1,340	3.4	<b>1,909</b>	<b>4.7</b>	<b>+42.5</b>	<b>+1.4</b>
当期純利益	949	2.4	<b>1,655</b>	<b>4.1</b>	<b>+74.3</b>	<b>+1.7</b>
1株当たり純利益	233.50円	—	<b>405.25円</b>	—	<b>+73.6</b>	—
1株当たり配当金	40.00円	—	<b>80.00円</b>	—	<b>+100.0</b>	—

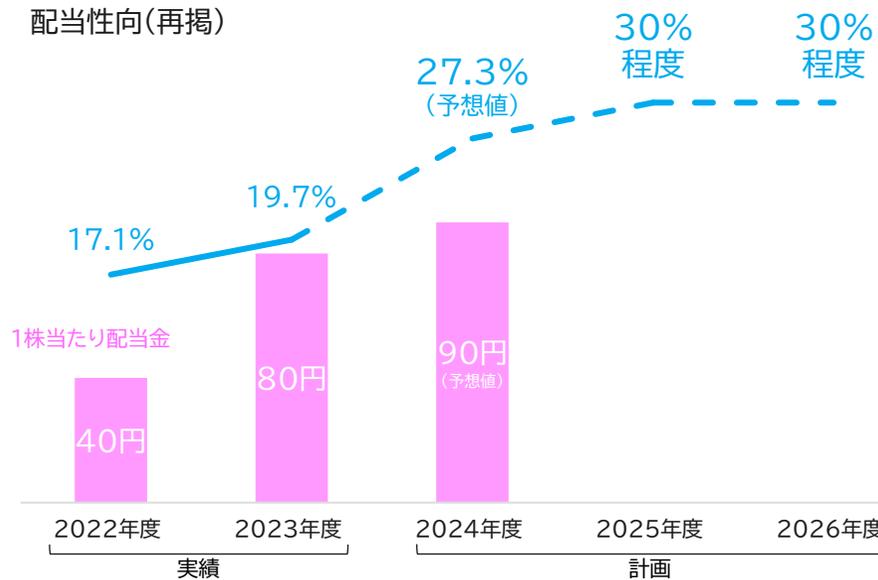
## 2025年3月期 業績予想

- ◆ 売上高は前期比+2.0%の41,000百万円と増収を予想
- ◆ 上期(中間期)は、食品関連が、前年同期とは対照的に、円安の長期化による仕入コスト上昇や物流コストの増加に対して取組んだ販売価格調整の寄与が限定的となり、利益率が低下も、下期は、販売価格調整がさらに進み、また物資関連も、遅れていた海外防災関連分野の現地調査案件が進行するなど、収益が拡大する見込み
- ◆ 人件費・物流費等の経費の増加を見込む一方で、前期に計上した為替差益を勘案せず、経常利益は1,650百万円、また賃上げ促進税制等の適用を考慮せず、当期純利益は1,350百万円と期初予想を維持
- ◆ 期末配当は、減益予想ながらより高い配当性向を実現すべく、前期比10円増配の1株当たり90円を予定

	2024/3期		2025/3期			2025/3期中間期		
	実績 (百万円)	売上比 (%)	予想 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	進捗率 (%)
売上高	40,204	100.0	<b>41,000</b>	<b>100.0</b>	<b>+2.0</b>	19,702	100.0	48.1
売上総利益	8,593	21.4	<b>8,790</b>	<b>21.4</b>	<b>+2.3</b>	4,076	20.7	46.4
販管費	6,799	16.9	<b>7,040</b>	<b>17.2</b>	<b>+3.5</b>	3,476	17.6	49.4
営業利益	1,793	4.5	<b>1,750</b>	<b>4.3</b>	<b>△2.4</b>	600	3.0	34.3
経常利益	1,909	4.7	<b>1,650</b>	<b>4.0</b>	<b>△13.6</b>	575	2.9	34.9
当期(中間)純利益	1,655	4.1	<b>1,350</b>	<b>3.3</b>	<b>△18.5</b>	501	2.5	37.1
1株当たり純利益	405.25円	—	<b>330.05円</b>	—	<b>△18.6</b>	122.40円	—	37.1
1株当たり配当金	80.00円	—	<b>90.00円</b>	—	<b>+12.5</b>			

# 株主還元

- ◆ 中期経営計画に基づき、財務体質の強化を考慮しつつ、明確な数値基準を設定し利益に応じた分配を実施
- ◆ 2024年度～2026年度の各年度の期末日を基準日とする各期末配当において配当性向30%程度を実現する方針
- ◆ 2024年度は10円増配の90円を予定



# 株価推移



主要株式指標	
直近株価(11/29終値)	1,540円
PER:株価収益率	4.67倍
PBR:株価純資産倍率	0.82倍
予想配当利回り	5.84%



# Appendix



## ・人的資本経営

- ◆ 事業戦略と連動した人材戦略に基づく人材の確保・育成・活用を推進
- ◆ 多様な働き方を可能とする「働きやすさ」と従業員の満足度を高める「仕事のやりがい」を向上させるための制度改定や職場環境整備を促進
- ◆ 女性管理職比率や男性の育児休業取得率の向上に向けた制度整備や環境づくりを検討・実施
- ◆ 研修の充実、リスキリングや自己啓発への支援拡充など人材育成に注力

### <参考>

物価上昇が続く中、従業員の生活を保障する観点から、前年に引き続き、2024年4月に神栄および国内子会社4社において、管理職を含む正社員の基本賃金を一律に引き上げるベースアップを実施

	ベースアップ額 (一律月額)	定期昇給と併せたグループ全体 (対象5社)の組合員平均の賃上げ率
2023年4月	10,500円	5.59%
2024年4月	7,500円	3.92%
2年累計	18,000円	9.78%

## ・サステナブル経営

- ◆ 各セグメントにおいて、パーパスと連動した社会・環境に貢献する事業展開を促進
- ◆ **食品関連**
  - ・食品ロス削減や人手不足解消に貢献する冷凍食品のさらなる普及
  - ・世界から日本へ、日本から世界へ、安全・安心で豊かな食文化を提供
- ◆ **物資関連**
  - ・日本の優れた技術を海外へ提供し、産業の発展や安全・安心な社会づくりに貢献
  - ・暮らしの質を高める高付加価値で安全・安心な建築金物・生活資材を国内で提供
- ◆ **電子関連**
  - ・輸送に係る高度な製品・サービスの提供で包装材料削減など効率的な物流に貢献
  - ・メディパル社\*とのコラボレーションにより医薬品の品質・有効性・安全性を確保

\*株式会社メディパルホールディングス
- ◆ **事業開発関連**
  - ・社会課題の解決やサステナブルな社会の実現に貢献する新規事業を開発
  - ・アパレル事業での商品廃棄ゼロを目指したサプライチェーン最適化・物流効率向上
- ◆ 各事業所における温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)・廃棄物の削減など環境に配慮した取組みを促進

## 中期経営計画「神栄チャレンジプロジェクト2026」 個別施策(3)

### ・DX推進、デジタル技術活用

- ◆ クラウドサービスやシステムの提供など、ビジネスモデルの変革につながる製品・サービスを拡充
- ◆ 生成AIを含む新たなデジタルツールを活用した業務改革を実現
- ◆ ICT活用の基礎となる強固な情報セキュリティを維持・強化

### ・コーポレートガバナンス・コンプライアンス強化

- ◆ 全取締役に占める独立社外取締役の割合3分の1以上維持と取締役会の多様性を確保
- ◆ 各種経営会議・委員会の事務局機能を強化するなど適時適切かつ透明性ある意思決定を促進
- ◆ 監査等委員会・会計監査人と連携した内部統制を実践

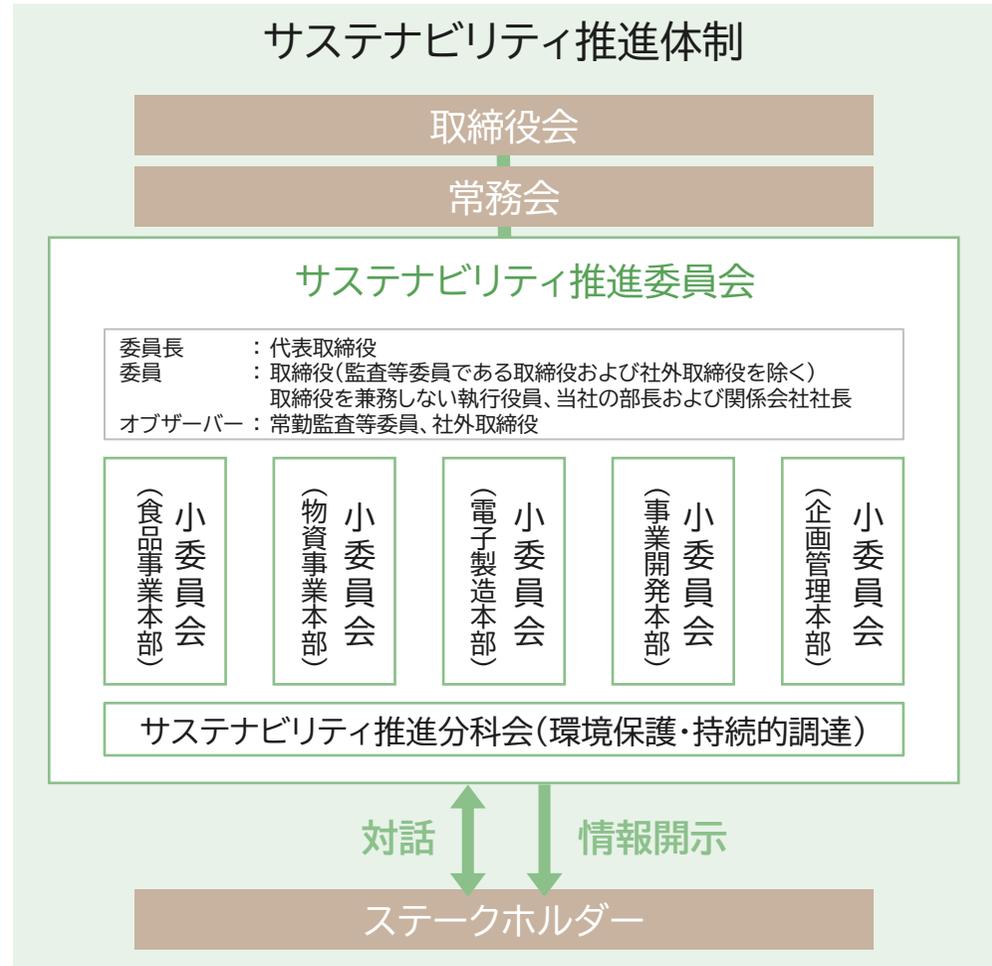
# サステナビリティの取組み(1) サステナビリティ基本方針

- ◆ 神栄グループの持続的成長と企業価値向上を目指すことを目的として、取締役会にて「神栄グループサステナビリティ基本方針」の策定と「サステナビリティ推進委員会」の設置を決議
- ◆ 「サステナビリティ推進委員会」は、代表取締役を委員長とする全グループ横断的な組織として、サステナビリティの推進に関する取組み全般の統括管理を担う

## 神栄グループ サステナビリティ基本方針

神栄グループは  
「新しい価値の創造につとめ  
豊かな社会づくりに貢献します」

という経営理念の下、  
神栄グループ倫理憲章を常に遵守し、  
グローバルなネットワークを活用して、  
人々の様々な豊かさと持続可能な社会の  
実現に向けて全力で貢献するとともに、  
その結果として自らの持続的成長と  
企業価値向上に努めます。



# サステナビリティの取組み(2) マテリアリティ

- ◆ サステナビリティ基本方針を具現化し、企業として社会的責任を果たすとともに持続的成長を目指すために取り組むべきと考える重要度の高い課題「マテリアリティ」を特定
- ◆ マテリアリティに基づき、本部ごとに設置した小委員会およびグループを横断する特定の課題に対応することを目的に設置した分科会において、サステナビリティに関連するリスクや機会に対処するための短期的・中期的な取組みを実施
- ◆ 各取組みは、経営理念やパーパスに基づき、事業拡大や事業創出、事業を通じた社会貢献の実現を目指す

社会課題	マテリアリティ	事業領域	目指すところ	対応するSDGs
地球環境保護(E)	環境に配慮した事業の推進	食品	食品ロス低減への貢献	
		電子	物流環境における包装材料の削減や製品破損の防止への貢献	
		全事業	サプライチェーンにおける廃棄物の削減	
		全社	各事業所における温室効果ガス・廃棄物の削減	
持続可能な社会(S)	暮らしを豊かにする製品・商品およびサービスの供給	食品	豊かな食生活に貢献する食品の安定供給	
		物資	快適・安全・持続可能な暮らしづくりに貢献する製品・商品およびサービスの供給	
		電子	健康で安全・安心な生活と、これに関わる製造や物流の効率化を促進する製品やサービスの供給	
		事業開発	社会課題の解決やサステナブルな社会の実現に貢献 心を豊かにし健康で快適な暮らしに役立つ衣料品等の供給	
	持続可能なサプライチェーンの実現	全事業	サステナブル調達への推進	
	共創活動の推進	電子	パートナーシップの推進による新たな付加価値の創出	
労働環境(S)	働きがいのある職場環境の整備	全社	働きがいのある職場づくり	
ガバナンス(G)	経営基盤の強化	全社	ガバナンス体制の強化	
			コンプライアンスの徹底	
			人権尊重の取組みを推進	
			内部通報制度の利用促進	

# サステナビリティの取組み(3) 具体的な取組み例

## パーパス

食品

世界を食でつなぎ、  
食に新たな豊かさを

**E**

長期保存や品質保持などの特性を有する冷凍食品の新商品を開発し、さらに普及させることで、食品ロスの低減に貢献

**S**

安全・安心はもちろん、リーズナブルかつ利便性の高い商品を、世界中の食材を有効活用して安定的に供給し、社会の発展と豊かな食生活に貢献

物資

「人・モノ・技術」をつなぎ、  
快適・安全・持続可能な  
暮らしづくりに貢献します

**E**

サプライヤーや顧客とも協力し、自然環境に配慮し、環境負荷の少ないサステナブル素材を使用した商品を供給、また開発を推進

**S**

海外において、自然災害対策や施設等の安全対策に関するコンサルティングや資機材の供給により、安全で持続可能な都市基盤の構築に貢献

電子

競争と共創へ  
時代の変化をとらえ、技術力でチャレンジ  
し続け、豊かな暮らしを支えます

**E**

輸送包装に関わるウェビナーの開催、各種試験機や受託試験サービスの提供により、物流環境における包装材料の削減に貢献

**S**

メディパルHDとのコラボによる温度ロガーのコロナワクチン温度管理用途での供給を契機に、医薬品物流における品質・有効性・安全性の確保に貢献

事業開発

共通価値の創造を体現し、  
サステナブルな未来を紡ぎます

**E**

アパレル商品の売れ残り品や不良品の“廃棄ゼロ”を目指した品質不良発生の防止や販売先ネットワークの拡大を推進

**S**

社会課題の解決やサステナブルな社会の実現への貢献を目指した共通価値の創造(CSV)を体現する新規事業開発を推進

全社／全事業

**E**

各事業所におけるCO<sub>2</sub>排出量や廃棄物数量の削減、ペーパーレスなど、環境に配慮した取組みを強化

**S**

仕事のやりがい向上のための制度・職場環境の整備や、適切なワークライフバランスを支援する多様な働き方を可能とする制度改定や体制整備を検討

**G**

取締役会の多様性を確保、研修や啓発によりコンプライアンスを徹底、人権尊重の取組みを推進、内部通報制度を周知・啓発

## 注意事項

---

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。